

市役所が抱える課題を解決するための実証実験を スタートアップと協働で実施します！

岡山市が抱える社会課題等について、最先端のテクノロジーなどで課題解決に向けて、担当部署とスタートアップが協働する事業「GovTech Challenge OKAYAMA(ガヴテック チャレンジ オカヤマ)」を実施しています。このたび、今年度社会実証を行う3社が決定しました。

1 採択したスタートアップと解決提案概要等

・OKKO 株式会社

AI チャットボットを利用した簡易な補助金診断を行い、企業への最適な施策・支援策を提案することで、企業に必要な情報提供ができるか、検証を行う。

・株式会社はこぶん

LINE をベースとした顧客アンケート DX ツール「ホンネ POST」を活用し、市民の「ふと伝えたい」ような声や「つぶやき」を収集し、施策に反映しやすい解析になるかの検証を行う。

・合同会社 Quicken.

講師求人に特化した日本初のプラットフォーム「ミツカルセンセイ」の活用を視野に入れ、教員採用にどこまで効果がでるか、検証を行う。

※詳細は別紙にてご確認ください。

2 今後の予定

スタートアップが持つ先進技術を活用した解決手法を担当課とともにブラッシュアップし、準備が整ったものから順次、社会実証を開始します。

来年3月には実証実験の取組や成果についての発表会を予定しています。

3 備考

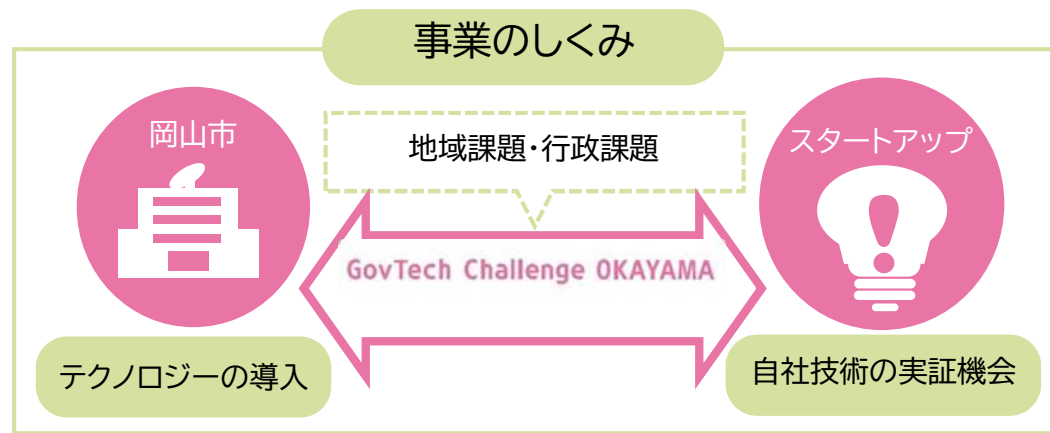
スタートアップとは、新しいビジネスモデルを考えて、新たな市場を開拓し、社会に新しい価値を提供、社会に貢献することによって事業の価値を短期間で飛躍的に高め、急成長を目指す企業や組織のことです。

【お問い合わせ先】

岡山市 創業支援・雇用推進課 河合・羽納 直通086-803-1342 内線4518・4584

GovTech Challenge OKAYAMAについて

- スタートアップと市職員が協働して行政課題や社会課題の解決に取り組むことで、スタートアップの成長と市の課題解決を目指す取組
- スタートアップは、市が持つ社会実証フィールドを活用して、自社のプロダクトやサービスの実用性をブラッシュアップして、事業成長を図る。
- 実証実験を行う費用の一部を岡山市が負担し、事業の実効性を高める。

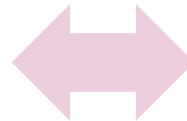


どんな中小企業でも迅速に必要な支援情報が手に入る環境を！



【課題概要】

中小企業に対し、最適な支援情報を提供するために生成AIなどの新技術を活用し、事業を成長させるための情報共有・活用システムを検証する。



OKKO

OKKO(株)
東京都

【提案概要】

AIチャットボットを利用した簡易な補助金診断を行い、企業への最適な施策・支援策を提案することで、企業に必要な情報提供ができるか、検証を行う。

公園の隠れた声を発掘！真のニーズ把握で公園をより良い場所に



【課題概要】

今までの単なるアンケートではない手法で、公園利用者の声なき声(潜在ニーズ)などを収集・分析する新たな手法を浦安総合公園をフィールドに実証実験を行い、今後の公園事業への活用のしやすさを検証したい。



(株)はこぶん
東京都

【提案概要】

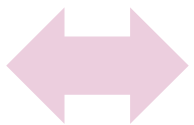
LINEをベースとした顧客アンケートDXツール「ホンネPOST」を活用し、従来の形式的なアンケートでは拾いきれなかった、市民の「ふと伝えたくなる」ような声や「つぶやき」を収集し、施策に反映しやすい解析になるかの検証を行う。

岡山の未来を担う教員を！「やってみたい」を引き出す出会いと情報伝達の革新



【課題概要】

学校現場に対するネガティブなイメージを払拭するため、多様な働き方が進んでいることを、今まで以上に広く周知し、教職志願者を増やしたい。情報発信や体験機会で効果を検証し、採用に繋がるアプローチを模索したい。



(合)Quicken.
奈良県

【提案概要】

現状の課題を診断し、それに合わせた解決策を実行。解決策には、講師求人の特化した日本初のプラットフォーム「ミツカルセンセイ」の活用を視野に入れ、教員採用にどこまで効果がでるか、検証を行う。

※実証実験を進めて行く中で、募集時に想定していた課題解決手段とは異なる実証実験の内容となることもあります。